

(表紙)

天保七年六月

御飯屋諸入用勘定割合請取帳

一、金老也

此錢六貫八百三拾貳文

別当神主振舞料

六月十二日

一、錢老貫六百七拾貳文

一、金老歩也

此錢老貫七百八文

一、錢八百五拾貳文

一、同六貫四百文

神輿^{注十番乙}迂歸之節、道具持人足
両日ニ而三拾貳人分賃錢

一、同三百文

右同断人足世話役又兵衛江
酒代

一、金老歩老貫文

此錢貳貫七百八文

神輿^{注方}迂歸巡行之節、惣町

抱頭中骨折相勤候ニ付、酒代

一、錢貳百四拾八文

六月二日神輿鋸附之節、白麻
五尺・ほうき・はたき其外小
買物代

一、金貳歩ト七分

此錢三貫五百文

御飯屋供物棚新規補理等品大
工手間料共 大工三五郎払分

一、金貳朱也

此錢八百五拾貳文

御飯屋切組昨年再建当年初而
場所江取建候ニ付、伝薦人足
中江酒代

一、錢四百六拾八文

願書御届、其外共入用、西の
内・美濃紙・半紙代共

定御火消三ヶ所・御使番衆・
火事場御見廻り方御加役御役
所共都合拾八ヶ所江明り立御
届ニ罷出候入用分

一、同三百文

神主木村隼人殿宅迄伝馬卷疋
駄ちん

此錢四貫貳百六十八文

木綿代、其外諸入用、蠟燭代共

一、金壹歩也

此錢壹貫七百八文

年番町書役骨折相勤候ニ付、
酒代

一、金貳朱也

此錢八百五拾貳文

御飯屋燈籠上新規雨障子長七
尺壹枚代

一、錢八百文

度々廻狀持廻り并割合出錢
取集メ遣入足賃錢

一、錢四百三拾貳文

御飯屋下茶所入用松卷間尺壹
寸板貳枚并唐竹貳本代共
檜木屋七兵衛殿払分

一、金壹兩貳分ト三貫九百三拾六文

此錢拾四貫百八拾四文

神輿取調之節、磨キ方鋸師
手間料并小買物代、鳳凰其外
損所繕ひ金物減金仕直し等
諸入用之分

一、同六百拾六文

釘鉄物品々代

三河屋新兵衛殿払分

一、錢三貫文

御飯屋前棒突入足賃錢

一、同壹貫三百四拾八文

銀十貳匁分

伝式自身番所引直し之節
相用候けやき板四枚代

一、同四百文

六尺棒新規式本代

一、同拾貫五百拾六文

一、金壹歩也

此錢壹貫七百八文

御飯屋中
神燈料

御飯屋取建取払薦人足
拾六人分賃錢并車力上下
賃錢其外人足支度代小買物
一式

一、金貳分貳朱也

御飯屋神前鈴の緒三色

一、同壹貫文

伝式抱頭三吉
御飯や取建其外共骨折

天保七年六月〜七月

相勤候ニ付、酒代遣ス

覚

一、同三百文

右同人江神酒料渡ス

一、壹貫三百七拾三文

山王御祭礼大伝馬町小旗持
拾五人分人足賃錢割合

惣ノ六拾七貫文

通り七ヶ町

惣小間八百八拾間ニ割

一ト小間ニ付

錢七拾四文宛

申七月八日

右町
掛り行事

彦七印

一、拾壹貫五拾九文

内三貫文 前集ノ

引ノ八貫五十九文

外ニ金貳朱

別当神主振舞料

右之通御飯屋諸入用七ヶ町割合御出銅、慥ニ請取申候、以上

申七月八日

祭礼年番

塩町三丁目

掛り行事

彦七印

塩町三丁目

御行事衆中様

(表紙)

天保八^酉年六月

御仮家諸入用勘定割合請取帳

一、金壹両也

此錢七貫文

一、貳貫貳百五拾六文

一、金壹歩也

此錢壹貫七百四十八文

一、七百五拾六文

一、六貫四百文

別当神主振舞料

御番所様江幟・挑灯

建願罷出候節入用

右願書絵図面共

貳通認メ筆墨料

当所最寄御役屋敷へ明り

立御届ニ罷出候節入用

神輿^(江カ)迂帰之節、道具持人

足上下三十貳人賃錢

一、三百文

一、金壹歩ト

壹貫文

此錢貳貫七百四十八文

一、百六拾八文

一、四百五拾六文

一、三百文

一、金壹歩也

此錢壹貫七百四十八文

一、八百文

右同断人足世話役へ
酒代

神輿^(江カ)迂帰巡行之節、

惣町抱頭中骨折相勤

候ニ付、酒代

神輿銚附之節、

白麻・ほうき・はた

き代

願書其外紙代

神主木村殿宅迄

馬壹疋駄ちん

年番町書役

骨折相勤候ニ付酒代

度々廻状持廻し并

割合出錢取集人足

賃錢

天保八年六月〜七月

一、金壹歩也

此錢壹貫七百四十八文

御仮家中神燈料

此錢拾貳貫貳百四十八文

小買物、同損所取繕ひ
諸入用

一、三貫文

御仮家中棒突

一、金三分ト

社内所々戸ノリ并

人足賃錢

貳百五十八文

裏板^(壁カ)塀繕ひ入用

一、四百文

新規六尺棒貳本代

此錢五貫五百拾文

一、金貳分貳朱也

御仮家中神前

一、金壹両貳分也

御仮家取建取払

此錢四貫三百七十貳文

蠟燭并鈴緒代

此錢拾貫五百文

鳶人足同支度代、其外
小買物一式請負賃錢伝二一

一、八百七拾文

白木綿并釘・渋紙・

竹之代

一、壹貫五百文

同当年之儀者諸色

一、金壹歩也

此錢壹貫七百四十八文

俄雨ニ付、桐油四枚
借相用ひ、右挨拶

高直ニ付増遣入、尤当年
限候事

一、金壹朱ト

貳百四十文

此錢六百七十六文

神輿掛綱修復
并小買もの代

一、壹貫文

同人骨折相勤候ニ付、

酒代

一、三百文

同人江神酒代

一、金壹両三分也

同取納之節、鋳師手間

一、金貳歩也

神主逗留中、諸色

此錢三貫五百文

高直ニ付、難決之由申

ニ付、当年限り心付

ノ錢七拾貳貫八拾文

通七ヶ町惣小間八百八十間割

老小間

七拾九文ツ、

一、拾老貫八百九文

内三貫文

前集メ引

引ノ八貫八百九文

外ニ金貳朱也

別当神主振舞代

右之通御仮家諸入用割合出錢、槌受取申候、以上

酉七月八日

祭礼年番

伝馬町老丁目

掛り行事

伝兵衛印

塩町老丁目

御行事中様

天保八年六月〜七月

(表紙)

天保十^亥年六月

御仮屋諸入用勘定制請取帳

一、三百文

右同断人足

世話人江酒代

一、金巻歩卜

同惣町抱頭中江

巻貫文

骨折二付、酒代

此錢貳貫七百四十八文

一、金巻両也

別当神主振舞料

此錢七貫文

一、六百七拾文

神輿銚附之節

用白晒麻・ほうけ^(マ)・

はたき・小買物代

一、金巻分卜

御番所様江幟・挑灯建

巻貫百八拾文

願罷出候節入用

一、三百文

神主木村殿宅迄

馬巻疋駄賃

此錢貳貫九百三十貳文

一、金巻分也

右願建絵図面貳通

此錢巻貫七百四拾八文

認メ筆墨代

一、八百文

度々廻状持廻り

割合合せん取集メ人足

賃せん

一、八百文

当所最寄御役屋敷へ

明り立御届ニ罷出候入用

一、金巻分也

此錢巻貫七百四十八文

年番町書役

骨折二付、酒代

一、六貫四百文

神輿^(近)迂帰之節、道具

持人足上下三拾貳人賃せん

一、五百八十八文

書面其外色々

紙代

小買物一式請負、伝式三吉へ

一、三貫文

御仮家中棒突人足

一、壹貫文

同人骨折ニ付、酒代

ちん

一、四百文

新規六尺棒式本代

一、壹貫五百文

同人願出候ニ付、一統相談之上、諸色高直ニ付増遣ス、尤

一、四百文

新規六尺棒式本代

一、壹貫五百文

同人願出候ニ付、一統相談之上、諸色高直ニ付増遣ス、尤

一、金壹分也

御仮家中神燈料

一、三百文

同人江神酒代

此錢壹貫七百四十八文

一、金貳分貳朱也

御仮家中神前江

一、壹貫七百四拾八文

神輿修復中

此錢四貫三百七十貳文

蠟燭并鈴緒代

小買物代

一、銀十八匁

俄雨ニ付、御仮家へ桐油

一、壹貫五百文

神輿修復ぬし方

此錢貳貫九十文

借用いたし、少々損し候ニ

其外小買物代

付、損料代挨拶共

一、金壹両貳分三朱ト

神輿鳳凰^{マユ}桐新規其外

一、貳百八文

右同断桐油押へ

百九十貳文

修復并減金仕直し、ろばん

貫縄代損料

此錢十貳貫八十文

修復直共、但此分戌年分

一、金壹両貳分

御仮家取建取払

同鳳凰笠并宝珠其外

此錢十貫五百文

薦人足賃せん支度代、其外

金物一式減金直し繕ひ

天保十年六月〜七月

一、金貳両貳分貳朱也

此錢十八貫三百七拾貳文

代見積り、但神輿豎方

鋳師手間六人、猶鋳師

骨折ニ付、酒代遣ス共

此錢壹貫貳百七拾貳文

心付

一、銀百拾九匁壹分

錢百四十八文

此錢十四貫拾文

御仮家屋根掛戸拾枚

杉四方尺板三十八枚、外ニ

四枚仮屋へ遣し井工手間

車力賃せん共

ノ百六貫五百六拾壹文

通七ヶ町惣小間八百八拾間割

壹小間百貳拾壹文五分ツ、

一、拾七貫五百六拾貳文

内三貫文

前集メ引

一、金貳朱ト

銀壹匁

此錢九百八十八文

御仮家へ新規橋子^(マ)

手間代共、大工三五郎へ渡分

ノ拾四貫五百六拾貳文

外ニ金貳朱也

別当神主振舞料

一、銀三十三匁七分九厘

錢貳百四十文

此錢四貫百八十壹文

御仮家釘品々代

ノ三新江松

右之通御仮家諸入用割合出錢、^(印)慥ニ請取申候、以上

亥七月八日

祭礼年番

伝馬町新巻丁目

掛り行事

一、壹貫貳百九拾文

神輿繕ひ上袋洪紙

修復代、小買物代

伝五郎^(印)

一、金貳朱ト

四百文

白帳^(マ)八人分洗ひ

井繕ひ門番人江茶代

御行事中様

塩町巻丁目

(表紙)

天保十一年

年番諸用留

子正月より

通七ヶ町年番

塩町巻丁目

覚

一、此度名主塩崎氏より通七ヶ町江金借用致度段相願ニ付、尤役料引当ニ而月々引去呉候趣ニ付、惣町寄合相談之上、右願半限之金子、惣町承知聞済候間、其段塩崎氏江及掛合ニ則右之金子惣町より玄関江持参被致候御連名左ニ印

一、金貳拾兩

通年番

塩町巻丁目

掛り行事

太郎兵衛

天保十一年

一、金貳拾兩

塩町貳丁目

掛り行事

清 八

一、金貳拾兩

塩町三丁目

是ハ御相對ニ相済候由、御出席 同 次兵衛

御出金無之候

一、金拾兩

伝馬町巻丁目

同 源 助

一、金拾兩也

同新巻丁目

同 重 藏

一、金貳拾兩

伝馬町貳丁目

同 清 兵衛

一、金貳拾兩

同三丁目

同 庄右衛門

右之通り金子持参致、尤月々役料ヲ以引去勘定仕可相済証文町々江取之置申候、以上

天保十一年

子六月

覚

高嶋氏町御会所拝借金返納元利金六拾両当年より四ヶ年之間二季并納割合出銀左之通り

一、金六拾両

内金三拾両

町割老町分金五兩ツ、

但半町分金貳兩貳分ツ、

内金三拾両者

通七ヶ町惣小間八百八十間ニ割

一小間貳匁四り六毛ツ、

四ヶ年分町割

一、金貳兩貳分

同小間割分

伝馬町老丁目

金三兩ト

七匁貳分老厘

メ金五兩貳歩と

銀七匁貳分老り

老ヶ年出銀八拾四匁三分三り

半年分出銀

一、銀四拾貳匁老分五厘老毛

四ヶ年分町割

一、金貳兩貳歩

同小間割分

金貳兩貳歩貳朱ト

銀四厘貳毛

メ金五兩貳朱と

銀四厘貳毛

老ヶ年分出銀七拾六匁八分八厘六毛

半年分出銀

一、銀三拾八匁四分四厘三毛

四ヶ年分町割

一、金五兩

同小間割分

同 貳丁目

金四兩三分貳朱

銀老匁老分老り

メ金九兩三步貳朱ト

銀老匁老分老り

老ヶ年分出銀百四拾八匁四分

半年分出銀

一、銀七拾四匁貳分

伝馬町新老丁目

四ヶ年分町割

一、金五両也

同小間割分

金五両ト

銀五匁八分七厘七毛

メ金拾両と

五匁八分七厘七毛

壹ヶ年分出銀百五拾壹匁四分六厘九毛

半年分同

一、銀七拾五匁七分三厘四毛

四ヶ年分町割

一、金五両也

同小間割分

金四両三分貳朱ト

銀壹匁壹分壹厘

メ金九両三分貳朱ト

壹匁壹分壹厘

一ヶ年分出銀百四拾八匁四分

半年分同

一、銀七拾四匁貳分

伝馬町三丁目

四ヶ年分町割

一、金五両也

同小間割分

金三両三分

銀貳匁壹分六厘

メ金八両三分ト

銀貳匁壹分六厘

壹ヶ年分出銀百三拾壹匁七分七厘六毛

半年分同

一、銀六拾五匁八分八厘八毛

塩町壹丁目

四ヶ年分町割

一、金五両也

同小間割分

金五両貳分ト

銀五匁五分四厘

メ金拾両貳分ト

銀五匁五分四厘

壹ヶ年分出銀百五拾八匁八分八厘五毛

塩町貳丁目

同 三丁目

天保十一年

半年分同

一、銀七拾九匁四分四厘貳毛

手水家平建諸入用覚

一、金七拾七匁三分貳朱ト

貳百五拾六文

一、金九十三匁三分

諸材木類一式并足場上家人用
松杉栗丸太竹類等迄運賃
車力共一切ノ高

大工九百七拾人払

木挽百五十五人

但芫人三付手間料飯米代共

銀五匁宛

此内石垣上駒寄せ仕直し、表
門家根修覆等、其外臨時物少
々在之候

一、金百拾六匁壹歩

八百廿文

彫物師千三百九十六人半
手間料并ニ飯米代共銀五匁宛

後藤富五郎払

一、金三拾壹匁貳分貳朱ト

四百拾貳文

家根平均十貳坪余、銅瓦枚數
六百四十四枚代并荒手間銀釘
代共一式

関岡十郎兵衛払

一、金三拾壹匁貳朱也

色好筋緒惣金物垂木小口百八十
四本、破風裏甲茅負平金物
四拾枚、棟金數十貳枚、根卷煮
くるみ箱金物四ツ、天井廻り縁本
減金厚金物八枚、惣而一式之代

右同人払

一、金五匁三分貳朱ト

三百五拾三文

手拭掛煮くるみ棹金物四本
并小口木目形箱物四ツ組物釣り
筋金十貳本并ニ樋釣り四本、其外
鉄物一切釘類品々代

一、金七匁貳分也

外廻り惣掛銅鋼平均尺坪
百七十坪全一式請負仕并ニ天井
下細工鋼一式共

三河屋新兵衛払

一、金三拾壹兩貳分

廿四文

内外惣石類一式代共并石工

手間料共一切請負并臨時

分共ノ高

石工九兵衛松

一、金七兩三分

百三十貳文

手水盤台石豆州産磯石

新川伊豆屋喜兵衛松

一、金八兩三分壹朱ト

三百八文

薦人足百七十人半賃錢

壹人ニ付三百四十八文松

一、金拾三兩三分三朱ト

三百文

細工小家并上家共、家根方一切

地形赤土砂利代敷石下砂共

其外亥三月廿日鉦始より

已来普請中惣而小松

一式ノ高

一、金拾五兩壹朱ト

貳百拾六文

皆出来ニ付、子九月廿六日神樂

執行并上棟略式之砌、諸向

祝義蒔餅其外諸入用

ノ金四百四拾壹兩壹分三朱ト

貳百廿九文

普請中平均兩替

六貫九百三拾貳文

右之通明細勘定相違無之候、以上

通年番

伝馬町三丁目

亥年 掛り世話番家持

伊勢屋治兵衛

月行事 庄右衛門

通年番

塩町壹丁目

子年 掛り世話番家主

久保太郎兵衛

月行事 庄 吉

伝馬町壹丁目

世話人家持

上州屋源助

月行事 三郎兵衛

同所新壹丁目

天保十一年

世話人兼

月行事 重 蔵

同所式丁目

世話人家持

寄進金預り方出入取扱 佐野屋市兵衛

月行事 清 兵衛

塩町式丁目

世話番家持

普請惣掛り勤 青戸屋清八

月行事 吉 兵衛

塩町三丁目

諸向惣掛り勤 越前屋治兵衛

同 伊勢や伊兵衛

天保十己亥年三月廿日鉦始

同十一庚子年九月皆出来

別当宝蔵院十二世

承見法印代

棟梁 野崎政四郎

肝煎 池田三五郎

彫師 後藤富五郎

銅并

金物方 関岡十郎兵衛

鋳師

石工方

銅鋼方

鷹方

熊治郎

九兵衛

半七

万吉

(表紙)

天保十三寅年六月

神輿巡行道筋覚

四谷

しほ巻

覚

一、天王稻荷神輿巡行之事、当年より格別心妙ニ致候様被仰渡御座候ニ付、古来廻り場之分計巡行いたし、近來廻り初候武家方組屋敷并本村町辺亦者左門町南寺町仲殿町辺其外町々横丁之分行当り之場所者入り不申、惣而昔より之廻り場之外者一切入不申事

二、十八日明六ツ時過より獅子相廻り、戻り次第惣町抱頭欠附、一同神輿江附添精々心付可申事

朝正四時より神輿出し、天王横丁より大通りへ出

但し東福院脇并新屋敷江者入不申事

四谷大通り新巻伝巻御堀端迄

天保十三年六月

但西念寺横丁仲殿町江者入不申事

御堀端より新道通り大横丁竹町より四谷御門外河岸通り塩町巻丁目通り

但裏塩町江者入不申事

坂町通り三河屋伊兵衛酒店前へおろし

但本村町并法光寺通り細横丁江者入不申事

坂町通り上り七軒町塩巻十式丁目番屋角より入御簗筒町通り

但北伊賀町御組屋敷武家方町江者入不申事

中簗筒町東江大横丁出口迄、是より元之道江入申、たんす町通り福寿院前御飯屋横丁迄、是より北伊賀町かゞ屋前より荒木横丁江出、撰津守様御門前迄、是より大通りへ出、伝三忍町しほ式しほ三大木戸迄

但し上四町両側共横丁江者入不申事

大木戸より元之道右馬殿横丁より入、裏町通り忍町伝三伝式天王横丁迄、是より大通りへ出、御飯屋江入輿

但し左門町御組南寺町十軒町辺亦者忍原坂上法蔵寺横丁奥之方江者入不申事

一、廿一日正四時半御飯屋より出し、天王横丁坂下鮫河橋谷町通り

表町火之見下迄

但し是迄之横丁何れも入不申事

御駕籠町坂上角迄行、元之道江下り

但し相之馬場御堀端通り、亦者仲殿町通り江者入り不申事

御駕籠町坂より表町通り南町江入

但あんちん坂上り権田原江者入り不申事

南町八軒町仲町番屋前より永井様御門前へ出○

△但鮫河橋仲町辺横丁其外跡へ戻り候場所へ者入不申事

○谷町通り天王横丁坂下へ出、御本社江御入△

(表紙)

天保十四卯年四月

日光御参詣ニ付

御留守中七ヶ町持大木戸諸人用割合請取帳

一、九百十六文

一、八百文

一、五百五十文

一、六百五十文

一、壹貫貳百文

一、金貳分

一、金壹分貳朱

一、五百文

一、金貳朱

一、百文

メ金三両貳分貳朱ト

銀五拾三匁七分

錢六貫五百八拾八文

惣メ金五両貳分ト

錢貳百廿匁文

此錢三拾六貫五百廿四文

田安様御屋敷内江御目附

酒貳升、御門番同貳升

土釜炭大俵四俵

十一日より廿一日迄

水油壹升四合

十一日より廿一日迄

大木戸石垣上土手繕

赤土代手間賃共

引払候節人足四人賃

番屋借請候挨拶

幕・屏風・敷物

借請候挨拶

持廻り廻状賃錢

塩町三丁目定番人江

骨折ニ付遣し

半紙三狀

一、金貳両貳分貳朱

一、銀拾八匁

一、同拾匁

一、同三匁九分

一、同壹匁五分

一、同三匁六分

一、三百五十文

一、四十八文

一、七匁五分

一、五匁

一、四匁貳分

一、八十四文

一、七百五十六文

一、六百貳十四文

木戸番屋請負分

番屋畳五狀表替

高張挑灯貳張

ひやうそく三ツ

拍子木

六尺棒貳本

ふた付手桶壹ツ

ひしやく貳本

番手桶三ツ

細引貳筋

土ひん・茶わん・油さし

ひばし

小買物

引払候節千駄ヶ谷迄車力賃

天保十四年四月～五月

天保十四年四月ゝ五月

通七ヶ町惣小間八百八十間割

一ト小間ニ付

錢四拾文宛

一、五貫九百七十六文

ノ

右之通諸入用割合御出錢、慥ニ請取申候、以上

卯五月八日

通年番

伝馬町巷丁目

掛り行事

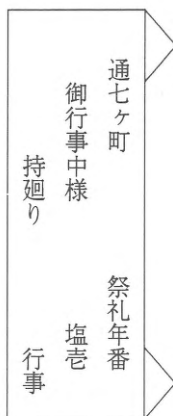
市兵衛印

塩町巷丁目

御行事衆中様

(表紙なし)

天保十四卯年祭礼年番ニ付、両社神輿銚附御飯屋諸入用前集、其外御番所并御役所向江御訴御届願等為覚有増書記ス



以廻状得御意候、向暑之節愈御清福奉大寿候、然者来月十八日より鎮守牛頭天王并稻荷飯屋神事ニ付、諸入用取集左之通当月町入用御勘定之節御差加江可被下候、来月八日取集之者江受取書為持差上候間、御渡可被下候、已上

五月廿六日

祭礼年番

塩町壺丁目

掛り行事

太郎兵衛

伝馬町壺丁目

錢壺貫五百文

天保十四年五月〜六月

同新壺丁目

同壺貫五百文

同式丁目

同三貫三百三拾式文

同三丁目

同三貫三百文

塩町式丁目

同三貫文

同三丁目

同三貫八百文

右町々

御行事中様

一、同六月八日神輿銚付ニ付、廻状左之通り

口上

以廻章得御意候、各様益御安泰奉大寿候、然者明八日神輿銚付仕候間、当日正五時より御世話人御行事中定番人御召連、天王拝殿江御出勤可被成下候、外ニ御相談申上度義も御座候間、是亦御含被置可被下候、尤雨天日送りニ御座候間、此段御承知可被下候、已上

六月七日

祭礼年番

塩町壺丁目

掛り行事

太郎兵衛

要助

伝馬町壺丁目

天保十四年六月

源助様

御行事様

同新巻丁目

重蔵様

御行事様

同式丁目

清兵衛様

御行事様

同三丁目

御行事様

塩町式丁目

清八様

御行事様

同三丁目

治兵衛様

御行事様

一、同十一日御興洗ニ付、廻状左之通り

以廻文得御意候、然者明十一日両社御興洗ニ御座候間、例之通り
抱頭御同道早朝より御出張可被下候、先者右申上度如此ニ御座
候、以上

卯六月十日

祭礼年番

しほ巻

徳兵衛

伝巻 忠八様 新巻

半蔵様

同式 庄助様

同三兼帯 佐七様

しほ巻 直兵衛様

同三 兵助様

右御町々抱頭衆へ無御失念御通達可被下候

一、同十四日祭礼休御訴并挑灯幟建願左之通り

乍恐以書付御訴奉申上候

一、四谷鮫河橋町々月行事共奉申上候、私共町内鎮守牛頭天王稲荷
祭礼之義、当六月十八日渡祭礼年ニ相当り候処、本社其外及大破
候ニ付、右祭礼入用ヲ以修覆仕、当六月渡祭礼相休申度段、別当
神主より寺社御奉行松平和泉守様江御願申上候處、願之通被仰
付候ニ付、当年祭礼相休申候、依之此段御訴奉申上候、已上
天保十四卯年六月十四日 四谷伝馬町

月行事惣代

市兵衛

五人組 弥 吉

同所塩町

月行事惣代

要 助

五人組 儀左衛門

名主 茂八郎

蛟河橋谷町

月行事惣代

(マ)

月番

北

御番所様

名主 茂八郎

月番

北御番所様

乍恐以書付奉願上候

一、四谷伝馬町同所塩町月行事市兵衛・要助奉申上候、私共町内鎮

守牛頭天王并稻荷神事ニ付、例年之通来ル十八日より同廿一日

迄同所伝馬町式丁目横町ニ在之自身番屋ヲ向横町江引、右跡江間

口杓丈奥行式間之飯屋ヲ建、神輿遷座仕候ニ付、氏子町々幟・挑

灯相建申度、別紙絵図面ヲ以奉願上候、以上

天保十四卯年六月十四日

四谷伝馬町老丁目

月行事

市兵衛

五人組 弥吉

四谷塩町老丁目

月行事

要助

五人組 儀左衛門

但右御訴之義者渡祭礼年計、休年者御訴ニ不及、尤幟・挑灯建願者例年相願申候、尤大美濃ニ而相認メ願書絵図面式枚とじニ致し可申候、絵図面者如図相違無之様相認可申事、為後日斷書致置候、已上

天王稻荷神輿巡行十八日同廿一日両日共物持人足役割

明六時ニ入

一、獅子太鼓式度相廻る

一、杓番太鼓

天王台拍子

式人

稻荷台拍子

式人

町内 五助

塩三 岩吉

一

一、式番太鼓 塩式 丑五郎

一、賽銭長持 伝式 藤兵衛

式人 塩杓 清助

式人 伝三 礒右衛門

一、台持 伝三 助五郎

一、幟持四人 伝杓 源藏

四人 塩杓 三八

塩三 重藏

新杓 辰五郎

伝式 長吉

天保十四年六月

天保十四年六月

塩巻 茂太郎

新巻 伊兵衛

右之通十七日夜町内自身番屋へ打寄、鬩取ニ而役割取極申候、尤刻
限記無之分も五時前社内江無遅滞相詰可申様申渡、銘々木札相渡し
候事



--	--

芥	□
	□

し

稲荷	

(表紙)

天保十四歲

両
社
幟幡再興扣

卯六月吉日

始

六月分

一、三貫文

六月廿二日取集分

預り

七月分

一、貳貫七百文

七月六日取集

二月[㊦]金貳分ト貳貫四百五十拾文

一、貳貫四百文

八月六日取集

[㊦]

一、貳貫三百九文

九月十日取集[㊦]

一、貳貫貳百文

閏九月六日取集[㊦]

一、壹貫七百四十毫文

十月分取集[㊦]

一、貳貫百六十毫文

十一月六日取集[㊦]

一、貳貫三十貳文

十二月六日受取[㊦]

一、貳貫貳百文

辰正月十五日受取[㊦]

金貳分

十七貫四百九十五文[㊦]

為金三兩貳朱

三百八文

兩二六貫五百五十文仕切

二月六日取集分

一、貳貫貳百三拾六文

二月六日受取[㊦]

同

一、金三分也

同日 富田様分[㊦]

二月七日

一、金貳朱

小林や慶松殿分

同

一、金壹分

萩屋庄八殿分

二月七日取集分

一、金貳朱

杵屋六松殿分

同

一、金貳朱

浜野常次郎殿分

同

天保十四年〜天保十五年

一、金三分

尾張や桑右衛門殿分

五口、金老兩壹分貳朱也

二月七日

預り

惣、金五兩壹分ト

貳貫五百四十四文

右御預ケ金不殘、受取申候、以上

辰二月九日

儀右衛門

惣代 藤 七

太郎兵衛

一、老貫九百貳文

辰三月六日取集

一、貳貫貳拾六文

同 四月九日受取

内百文西之内紙代引

引、老貫九百卅六文

一、老貫九百四十九文

五月六日取集

六月十二日不殘相濟

此錢五十三匁五分八厘

右之通、御預ケ分、受取申候

六月十二日

惣代 儀右衛門

同 太郎兵衛

月集

一、老貫七百六十四文

六月六日分集分

、為金四兩貳分貳朱ト貳百四十貳文

右者去卯六月より当六月迄十四月之間集高

月割寄進請取扣

皆納

一、四百文

内百文三月十七日入

鋸屋 辰五郎

四月十日 五月廿一日

百文 百文

六月六日皆納

同

一、金貳朱

内貳百文三月十七日入

三河屋 甚右衛門

四月九日 五月六日 六月六日

貳百文 貳百文 貳百文

五月六日皆納

同

一、金貳朱

伊勢屋 藤兵衛

同

一、金貳朱

深沢 宗 昂

皆濟相濟

一、金貳朱

二月九日 四月九日

桑吉店

内貳百文入 貳百文

唐物や 清兵衛

三月十七日 五月六日

内貳百文入 貳百文

一、金貳朱

伊兵衛店

皆済

一、金貳朱 三月十七日皆済

皆納

一、五百文 二月九日 五月六日

内百文入 百文

又百文入三月六日

四月九日 六月六日

百文 百文

五月六日

皆納

一、四百文

皆納

一、四百文

三月十七日

四月九日

百文入

百文

五月六日

六月六日

百文

百文

皆納

⑨一、金貳朱

三月六日

四月九日

内貳百文入

貳百文

五月六日

貳百文⑨

美濃や 市五郎

同

春木や 次兵衛

同

伊兵衛店

道具や

源次郎

同

同

同

同

大工 勘次郎

同

藤七店

尾張や

利 介

同

同

常七方

駿河や

万 吉

⑨一、四百文

皆納

一、五百文

三月六日

四月九日

内百文入

内百文

五月六日

六月六日

百文

貳百文

皆納六月六日

一、貳百文

皆納六月六日

一、貳朱

皆済

一、四百文

三月十七日

四月九日

百文入

百文

五月六日

六月六日

百文

百文

皆済

一、貳百文

皆済

⑨一、金貳朱也

要助店

伊藤 弥兵衛

同

同

魚や 清次郎

同

同

同

炭や 源太郎

同

道具や 源兵衛

平 助

同

峯次郎分

いせや

常 七

同

同

○大工

太郎 吉

同

荻や

天保十五年

皆済	丈兵衛店	太郎吉	皆済三月十七日	正兵衛分	喜兵衛
一、貳百文	○秋山	善兵衛	一、金貳朱	川田	
皆済	同		皆済六月六日	桃灯や	宗次郎
㊦一、金貳朱	蒔絵師	半次郎	一、貳百文	いせや	久兵衛
一、金壹分	三月十七日	太兵衛店	皆済三月十七日	六兵衛	
内巻朱取	竹内	弥兵衛	一、金壹分	遠州や	
内式朱入			皆済三月十七日	長兵衛	
皆済	同		一、金貳朱	福嶋や	三之助
一、金貳朱	伊藤	文蔵	㊦一、金貳朱	皆済義右衛門殿預り	
皆済三月十七日入	鉄五郎店		皆納	湯屋	伊三郎
一、金壹分	籠結や	清吉	一、金壹分貳朱	内巻分三月十七日入	
皆済三月十七日入	鉄五郎店		皆納	六月六日	
一、金壹分	浅井	金兵衛	一、四百文	三月六日	飯田屋
皆済	同		内百文入	四月九日	惣助
㊦一、金壹分	井上		五月六日	六月六日	
			百文	百文	
			㊦一、四百文	丈兵衛店	

大工

鉄五郎

印一、金貳朱

○藤井丈兵衛

藤七店

一、金貳分

○山田屋藤七

上総屋

皆済

喜兵衛

一、金貳分

○加賀屋五兵衛

同

一、金貳分

上総屋伝蔵

こふしや

卯兵衛

印一、金貳分

五月三日
内金壹分入

久保太郎兵衛

皆済三月十七日

一、五百文

(マ)

浪 栄

皆納

印一、金壹分

松屋儀右衛門

三月十七日入

久右衛門店

一、百文入

源五郎

皆済

六月六日皆納

丈兵衛店

一、金壹分

伊勢屋嘉兵衛

一、四百文

芳五郎

印一、四百文

伝七店

皆納

宗五郎

印一、金壹分

皆納六月六日

金助店

印一、金壹分

一、貳百文

兼次郎

印一、金貳朱

皆済四月三日

森田や

印一、金貳朱

一、貳百文

美 津

印一、金貳朱

六月五日皆納

岡本久右衛門

川越屋伊兵衛

武蔵屋勘六

横川鉄五郎

衆 吉

印一、金貳朱

中村金助

皆済三月廿六日

印一、金貳朱

山崎屋要助

一、金壹分

嘉兵衛店九軒

印一、金貳朱

理兵衛

皆済三月廿日

皆済

一、金壹分

峯次郎跡店十三軒

印一、金壹分

藤七店

皆納入

家根や長五郎

一、百文

藤七店栄助

皆納六月六日

印一、六百元

伊兵衛店中

一、三百文

藤七店

六月六日皆納入

大工吉五郎

一、金壹兩貳分也

若衆中より

皆納四月九日

一、貳百文

大工藤五郎

一、三百文

稲のママ一

皆済四月九日

一、金貳朱

鞍師安兵衛

一、金貳朱

大和や

一、貳百文

三味線屋由兵衛

八右衛門

一、三百文

久右衛門店中

五月十一日皆済

皆済

一、金壹分

要助店十軒

一、五百文

桑吉店中

印一、金壹分

儀右衛門店十軒

皆済

一、金壹分貳朱

三月廿一日

三百五十文

皆済三月廿六日

二月分

三月十三日

一、金貳朱

金助店七軒

出入一、金壹兩貳分貳朱ト四百十貳文 別寄進高

出入金壹兩貳分

出入覚

彫物師石川藤吉江渡

三月六日

入一、五百文 別寄進之分集

三月十七日

入一、金壹両貳分貳朱ト

壹貫七百文 別寄進集高

三月分

入一、金貳分貳朱ト

五百五十文 裏店の分別寄進

四月九日

入一、金壹分ト

壹貫四百文 別寄進集高

入五口

メ金三兩三分貳朱

四貫五百八文^(マ)

四月九日迄

残分

メ壹両壹分ト

三百六十四文 全有金

五月三日

入金貳分 伝蔵殿

嘉兵衛殿

天保十五年

三月十七日

出金壹両貳分

染物や金蔵江渡

同

出百三十貳文

置場地代

四月九日

出金壹分

仙台や平蔵渡

四月九日迄

出メ三兩壹分ト

百三十貳文

四月十八日

〇出五百十文

為四匁七分四り

芋貳百廿かへ

五月三日

出金貳朱 縄屋勘兵衛

五月六日

入金壹分ト

六百八十四文 別寄進集高

五月六日

引メ壹兩三分貳朱ト

六百四十貳文

五月十一日

入金壹分 要助殿店集分

六月三日

入金貳朱 薬湯分

五月六日^(マ)

入金壹兩

町内より兩替入^(マ)

六月六日別寄進

入金壹分貳朱ト

五百七十貳文

六月八日

入金壹分ト

四百六文 金助

竹内

五月六日

メ金貳朱五百十文

五月七日

〇出五匁職たし切

五月十九日

出金壹兩三分貳朱 彫物師

五月六日

出金壹兩 銅壺や

六月三日

出金壹分ト 指物師

壹貫三百文 宗五郎

綱ない手間

出金貳朱 いか町

平蔵

六月八日

出壹貫五百文 鳶四人半

六月九日

出金壹兩壹分 紺屋

141

同

入金貳朱

平助

出金壹分

護摩料

六月九日

入金壹分

鍵喜

出金壹分

同御礼料

六月九日

入金貳朱

大喜

六月九日

入金壹兩貳分

若中

入金壹分貳朱

やね七

安兵衛

(裏表紙)

世話人

家主中

若衆中

天保十四年

両社御仮屋諸入用勘定割合帳

卯六月

七ヶ町

年番

塩町老丁目

三 一、八百文

役屋敷所々明立

御届入用

六 一、四百廿四文

諸紙代

四 一、六貫四百文

十八日・廿一日御輿

附人足上下三十式人

人足賃錢

七 一、六百文

度々廻状持廻り

出錢取集人足賃

九 伝式一、貳貫六百元

御仮屋中棒突

人足賃

覚

一 一、金壹両也

別当神主振舞料

此錢六貫五百文

二 一、金壹分ト

壹貫貳百五十文

両御番所へ幟・挑灯建
願罷出候腰掛茶代

此錢貳貫八百七拾貳文

其外支度入用一式

四 一、金壹分ト

壹貫文

神輿^(神)迂^(マ)帰^(マ)之節惣町
抱頭中江被^(マ)為^(マ)遊酒代

此錢貳貫六百廿四文

一、金壹兩貳分

御仮屋取建取払

十 伝式一、金壹分

神燈料

此錢壹貫六百廿四文

十一 伝式一、四百文

六尺棒式本代

天保十四年六月

此錢九貫七百四拾八文

人足車力賃共

此錢六貫五百文

六枚新キ出来代

一、金貳朱也

三吉江神酒代

一、貳朱ト七百六文

台拍子胴取替

此錢八百十貳文

此錢壹貫五百十八文

修覆人足賃代

八 一、金壹分也

年番町書役江酒代

〇一、金貳分貳朱ト貳貫七百七十八文

神興修覆中、塗師方

此錢壹貫六百廿四文

此錢六貫八百四十貳文

其外鍍物^(マメ)鍍直し并繕

伝貳一、金貳分貳朱也

御飯屋中神前江用候

代共

此錢四貫六拾文

蠟燭并鈴緒共

一、金貳朱也

谷田院垣根繕代

一、金壹兩ト五百四十文

此錢八百十貳文

此錢七貫四拾文

御興家根桐油貳枚
新キ出来腰幕桐油貳

枚損繕油引直し

一、金貳朱也

門番人飯^(守カ)安骨折ニ付

此錢八百十貳文

心付遣ス

一、金壹分貳朱ト七百五拾六文

御興飯紐修覆料

此錢三貫百九拾貳文

一、三百文

神田迄馬壹疋駄賃

伝貳一、貳朱ト貳百八十六文

御飯屋ニ相用候梯子

〇五 一、貳百三十六文

箒・布巾・はたき代共

此錢壹貫百貳文

壹挺新キ出来

一、六百八十四文

家根屋儀左衛門殿へ

一、金壹兩也

御飯家々根荷桐油

酒壹升代

一、金巻分也

此銭巻貫六百廿四文

別当所啓音坊

世尊寺江入院ニ付祝義

内三貫三百三十式文引

同八百文引

引ノ七貫八百廿四文

百四十九間半

細引巻卷代

一、金式朱ト三百文
伝式 此銭巻貫百拾貳文

御飯屋家根桐油押

一、拾貳貫四百五十六文

同三丁目

内三貫三百文引

ノ七拾貳貫八百八拾六文

通七ヶ町惣小間八百八十間ニ割

引ノ八貫三百五拾六文

巻ト小間ニ付八拾文ツ、

百四十三間半

割合左之通り

一、拾巻貫九百五拾六文

塩町巻丁目

九十巻間半

内三貫文引

一、七貫六百廿四文

伝馬町巻丁目

同巻貫六百文引

内巻貫五百文引

引ノ七貫三百五拾六文

同八百文人足賃

百一十一間

引ノ五貫三百廿四文

一、九貫貳百四拾八文

同貳丁目

七十七間

内三貫文引

一、六貫四百十六文

同新巻丁目

同八百文引

内巻貫五百文前集分

引ノ五貫四百四拾八文

八百文人足賃引

百六十四間

引ノ四貫百十六文

一、拾三貫六百六拾四文

塩町三丁目

百四十三間半

内三貫八百文引

一、拾巻貫九百五拾六文

伝馬町貳丁目

同八百文引

天保十四年六月

天保十四年六月

引ノ九貫ト六拾四文

ノ七拾三貫三百三十弍文

寄り高

内拾九貫四百三拾弍文

前集分

同六貫四百文

人足賃

引ノ四拾七貫五百文

(表紙)

天保十四卯十一月

天王

稻荷

御本社格天井寄進帳

別当所

世話人

一、御本社格天井此度新規張替候ニ付、御信心之御方様不限多少、思

召次第御寄進被成下候様奉希候、以上

尤壹枚ニ付金百疋宛

但御寄進有之候得者、御名前格天井板表江相記置申候

卯十一月

別当所

せ八人

一、壹枚

大和屋八右衛門

一、壹枚

春木屋次兵衛

杵屋六松

一、壹枚

大和屋八右衛門

伊藤文藏

竹内弥兵衛

一、壹枚

飯田屋宗助

三河屋甚右衛門

一、壹枚

萩屋庄八

一、壹枚

小川兵吉

大工太郎吉

川田宗次郎

床鉄五郎

一、壹枚

儀右衛門長屋中

いせ屋六兵衛

一、壹枚

萬屋弥六

赤塚伊太郎

越後屋藤兵衛

天保十四年十一月

い勢屋藤兵衛
いせ屋常七

一、壹枚

尾張屋糸右衛門
升屋喜四郎

一、壹枚

嘉兵衛長屋中
伝藏長屋中

一、壹枚

藤七長屋中

一、壹枚

家主 嘉兵衛
小林屋慶松
甲州屋弥右衛門
銀師半藏

一、壹枚

形付屋辰次郎
稲毛屋源太郎
肴屋清次郎
信州屋平助

一、壹枚

田中屋安兵衛

一、壹枚

家根屋長五郎
同 喜三郎
大工清八
同 清次郎

一、壹枚

上野喜兵衛
麻井金兵衛
升屋喜四郎

一、壹枚

糸吉長屋中
丸屋庄吉

一、壹枚

尾張屋糸右衛門
奥田屋喜兵衛
葛籠屋清吉

一、壹枚

山田屋文藏
湯屋伊三郎

印 拾九枚

此金四両三分也

右之通り皆済儘ニ請取申候、以上

天王社

卯十一月晦日

世話人

天保十四年十一月

(表紙)

天保十四卯年鎮守両社御内陣向
惣修覆皆出来諸出入勘定書之控

十二月廿一日

御本社御内陣向并二両社御宮殿格天井其外塗り直し惣修覆諸掛り
入用并ニ寄進高差引出入勘定左之通り

一、金三両	塩崎茂八郎殿	一、金壹両	山崎屋次兵衛殿
一、金五拾両	広田伊兵衛殿	一、金壹両	尾張屋十兵衛殿
	近江屋藤四郎殿	一、金壹両	か、や五兵衛殿
	伊勢屋伊兵衛殿	一、金壹両	何某
一、金拾貳両	千葉元昌殿	一、金壹両一分	く組頭中
一、金拾両	富山小左衛門殿	一、金壹分	頭取万吉殿
一、金拾両	佐野屋平兵衛殿	一、金壹両	塗師重助殿
一、金三両	大塚屋半藏殿	一、金三分	牧野銓之助殿
一、金三両	伊勢屋勘兵衛殿		同 七 藏殿
			同 作三郎殿
一、金貳両	上州屋源助殿	金壹分	山本喜助殿
一、金貳両	尾張屋又四郎殿	金壹分	鎌倉屋吉藏殿

一、金貳両	若狭屋弥兵衛殿	金貳分	箔屋五兵衛殿
一、金貳両	三河屋安右衛門殿	金壹分貳朱	塗師 弁次郎殿
一、金壹両	福井清次郎殿		長次郎殿
一、金壹両	内田屋小兵衛殿		竹次郎殿
一、金五兩	伊勢屋次兵衛殿	金壹分	長嶋隆為殿
	三河屋長九郎殿	金壹分	川崎弥三郎殿
	中村屋勝五郎殿	金壹分	網屋新助殿
一、金壹両	近江屋源次殿	金壹分	河内屋伊右衛門殿
一、金貳両	和泉屋定吉殿	外ニ	
一、金貳両	高嶋屋平助殿	金三拾七両貳分	格天井板
一、金貳両	福田屋新兵衛殿	百五十枚分	寄進ノ高

寄進高ノ金百六拾兩壹分貳朱也

諸掛り入用左之通り

一、金拾壹兩貳分貳朱ト

工数ノ百六十七人半分

六百四十七文

一人ニ付四匁貳分ツ、大工弥四郎払

一、金拾壹兩壹分

格板
同縁 遣樅板檜角代

秩父屋利助払

一、金三拾九兩貳朱
三百廿五文

兩社御宮殿塗直し格天井
縁り黒ぬり同箔神鏡三方其外
小道具類色々塗り直し

塗師方重助払

一、金壹兩三分貳朱

みす修復代

追沼八五郎払

一、金廿三兩壹分

五百八十貳文

兩社御宮殿惣色吉箔押、其外
神鏡色々共同断

箔方五兵衛払

一、金七兩三分貳朱ト

百十八文

本紅地綿九尺五寸

戸帳三ツ代但仕立紋縫手間代とも

するか町越後屋払

一、金九兩ト

貳百七十六文

格天井板色吉箔押代

箔屋久四郎払

一、金廿貳兩貳分ト

三十八文

正遷座入用

御初穂祝義とも

一、金拾壹兩ト

百〇八文

兩社御宮殿惣金物本金減金差
直し、唐銅燈籠壹基修復、舟
錠式ツ其外諸品

銅屋十郎兵衛払

一、金百六拾三兩三分貳朱ト

四十六文

全ク掛り入高

一、金拾五兩壹分ト

四百三十貳文

格天井辻金物本金減金親規并
釘隠し、其外諸釘代

三河屋新兵衛払

差引不足

一、金三兩貳分ト

四十六文

不足金ニ相成候

一、金拾兩也

雲峰先生画代

右之不足金者普請方寄進金之内より出銀諸払致候処、相違無御座

天保十四年十二月

候、依之世話人一同并三掛り行事、為後日、本帳江連印致置候

天保十四卯十二月廿日

通年番

伝馬町老目

伊勢屋 勘兵衛印

上州屋 源 助印

掛り行事 市兵衛印

新老目

山崎屋 次兵衛印

尾張屋 十兵衛印

掛り行事 重 蔵印

伝馬町式目

佐の屋 市兵衛印

大塚屋 半 蔵印

掛り行事 半 助印

伝馬町三丁目

伊勢屋 次兵衛印

中村屋 勝五郎印

掛り行事 庄右衛門印

塩町老目

かッや 五兵衛印

右之通御座候、以上

右正遷座入用内訳ケ左之通り

一、金貳両 木村隼人様 一、金壹分 左官 吉蔵江

一、金壹分 御同人神酒料 一、貳朱 同 藤五郎へ

一、金貳分ト 一、貳貫百文 平五郎

貳百八十四文 貳朱 御息子へ 長 吉

貳朱ツ、 社家貳人 鉄五郎

三百文 侍一人 同 留 吉

貳百文ツ、 下男四人 鉄次郎

宝蔵院様 兼次郎

一、金貳両 大般若御札料 由右衛門

久保 太郎兵衛印

掛り行事 要 助印

塩町式目

大戸屋 清 八印

堺屋 吉兵衛印

掛り行事 兼 帯

塩町三丁目

越前屋 治兵衛印

伊勢屋 伊兵衛印

掛り行事 弥右衛門印

三百枚

一、金壹分 御隠居江

一、金壹兩貳朱 世尊寺殿

宝順殿

甚栄殿

一、三百文 御弟子光道殿

一、六百文 子供 貳人

下男 一人

一、貳朱 御宮番人へ

一、金三分 同門番安五郎へ

普請中茶代其外

所々使賃とも

一、金壹分 同人江祝義

一、金三分 神主世話中支度代

別当へ挨拶

一、金壹分 大塚四郎へ

一、貳朱 同 兵藏へ

一、五百文 同 三右衛門へ

別段骨折二付

一、金壹分 塗師 重助へ

一、九百文 弁次郎

同 長次郎

竹次郎

一、貳朱 箔屋五兵衛へ

一、金壹分 頭取万吉へ

一、金壹兩貳分 く組薦中へ

一、壹貫貳百四十四文

かゆ一式

内訳ケ

米四升 菜漬五十ツ、

小豆八合 焼塩

豆腐八丁 はし三百ぜん

油揚げ十枚 其外小買物

醤油壹升

一、貳貫八百六十文(酒壹斗

せう油五合

一、金壹分三百五十文

一、壹貫貳百文 同 喜三郎

善兵衛

銀次郎

万次郎

内訳ケ

一、四百九十四文 茶わん貳十

一、五百文 せんじ薬

一、四百十六文 練り炭貳俵

一、四百五十六文 福草り廿足

一、百〇四文 水引百わ

一、四貫文 三丁物

ろうそく

百廿丁

一、金壹分 筵四十貳枚

四百七十六文 荒縄しろ縄代

一升二付四十取

一、壹貫貳百文

西之内ミの紙半紙

のり入水引代

一、金貳兩貳分貳朱 赤飯壹石

七百廿四文 春賃蒸賃とも

一、金三分貳朱 煮染代

三百廿四文

一、八百十五文 松右衛門へ祝義

メ金拾九兩三分ト

小買物

天保十四年十二月

拾七貫九百十六文

此金廿貳兩貳分ト

四十文

右兩日諸掛り入用ノ高

右之通御座候、以上

天保十四卯十二月廿一日

通年番

伝馬町老丁目

塩町老丁目様

(表紙)

天保十五辰年六月

両社御仮屋諸入用勘定割合帳

七ヶ町

年番

塩町老町目

覚

一、金老両也

此錢六貫五百文

一、老貫八百文

一、金老分卜老貫文

此錢貳貫六百廿四文

一、八百文

天保十五年六月

別当神主振舞料
(鹽書、以下同じ)

兩御番所へ幟・提灯立

願罷出候腰掛茶代

其外支度代一式

神輿^(立方)迂歸之節、惣町

抱頭中江骨折酒代

役屋敷所々明り立

一、四百五拾六文

一、六貫四百文

一、六百元

一、貳貫六百元

一、四百文

一、金老分也

此錢老貫六百廿四文

一、金老兩貳分

此錢九貫七百四十八文

御届入用

諸紙代

十八日廿一日神輿附

人足上下三十式人人足

賃錢

度々廻状持廻り

出錢取集人足賃

御仮屋中棒突

人足賃

六尺棒式本代

神燈料

御仮屋取建取払

人足車力賃共

一、金貳朱也

伝貳

一、六拾六兩五分

御飯屋家根上桐油六枚

⊕

此錢八百十貳文

三吉江神酒代

⊕

此錢七貫貳百四文

但し四枚ニ割合候手

⊕

間代共

一、金壹分也

年番町書役江酒代

○

此錢壹貫六百廿四文

一、七匁五分

神輿桐油ニ繕ひ代

⊕

此錢八百拾貳文

塩貳山岸屋代三郎殿江

⊕

一、金貳分貳朱也

御飯屋中神前江

⊕

此錢四貫六十文

用候蠟燭并ニ鈴緒共

⊕

一、三百文

つり台式荷とつる代

⊕

一、金壹兩卜

神輿家根桐油六枚

⊕

銀六匁五分

新キ、尤四枚ニ拵直し

塩貳堺屋へ

⊕

此錢

候代共

御飯屋切組取繕ひ

⊕

一、九百四十四文

御飯屋切組取繕ひ

⊕

入用

一、五百五十六文

簪・はたき・白布代

●

一、金貳朱也

谷田院垣根繕ひ代

⊕

一、三百文

神田迄馬壹疋駄賃

⊕

此錢八百拾貳文

門番人飯守江

⊕

一、金壹兩卜

神輿修復塗師方

⊕

一、金貳朱也

骨折心付遣ス

⊕

貳貫四百拾七文

其外金物磨方鋸屋

⊕

此錢八百十貳文

惣修復入用附落

⊕

此錢八貫九百拾七文

手間代等ノ高

⊕

一、壹貫貳百八十八文

惣修復入用附落

⊕

赤土代
但上源其立替分

一、拾貫五百八十六文
内三貫三百文引

同三丁目

惣錢六拾壹貫七百拾七文

通七ヶ町惣小間八百八十間ニ割

卷ト小間ニ付 六拾八文ツ、
割合左之通り

一、六貫四百七十八文

伝馬町老丁目

内老貫五百文引

同八百文人足質

四貫百七十八文

一、七貫八百六十文

同式丁目

一、五貫四百五十文

同新卷丁目

内老貫五百文引

同八百文同

引
三貫百五十文

一、拾壹貫六百拾六文

塩町三丁目

一、拾貫百六十文

伝馬町式丁目

内三貫三百三十文引

同八百文同

引
六貫三十文

六貫三十文
内拾九貫四百三十文

寄り高
前集分

引 同六貫四百文
メ 三拾六貫五百文

人足賃
七月八日寄高

山王御祭札之節大伝馬町小旗持共警固人足賃錢割合之覺

一、錢六貫文

人足拾五人分定式賃錢

一、金貳朱也

右世話役太助殿賃錢

外錢壹貫五百文

人足壹人ニ付錢百文宛増錢分

メ 錢八貫三百拾貳文

通七ヶ町惣小間八百八十間割

壹ト小間ニ付錢九文貳分ツ、

一、八百七十四文

伝馬町壹丁目

一、七百三十七文

同新壹丁目

一、壹貫三百七十三文

同貳丁目

一、壹貫四百三十貳文

同三丁目

一、壹貫三百七十三文

塩町壹丁目

一、壹貫六十貳文

同貳丁目

一、壹貫五百六十九文

塩町三丁目

メ

(表紙)

弘化四_未年十月

宝生太夫勸進能出銀割合其外共割合控

通年番

塩町巻丁目

月行事

太郎兵衛

覚

一、巻貫三百廿三匁

四分六_リ巻毛

宝生太夫勸進能

出銀割合_メ

一、金貳分也

此分八百八十間割巻ト小間ニ付

三厘五毛

一、四百文

廻状持廻り取集

弘化四年十月

此分八百八十間割巻ト小間

五毛ツ、

質共

九拾巻間半

一、百三十七匁

五分三厘

一、三匁貳分ト

四十八文

_メ貳両一分ト六百六十八文

七十七間五寸五分

一、百十六匁

五分五厘

一、貳分九厘五厘_(マヤ)_(マヤ)

三十九文

_メ巻両三分貳朱ト

七百九十五文

百四十三間半巻尺五寸

一、貳百拾六匁六厘

一、五匁貳厘

七十九文

同貳丁目

伝馬町巻丁目

同新巻丁目

ノ三両貳分貳朱卜四百七十九文

百四十九間半

同三丁目

一、貳百貳十四匁七分

一、五匁五分三厘

七十五文

ノ三両三分卜

六百四十四文

百四十三間貳尺

一、貳百十五匁

塩町壹丁目

四分三厘

一、五匁貳厘

七十貳文

ノ三両貳分貳朱卜

三百十九文

百拾毫間

一、百六十六匁

同貳丁目

八分三厘

一、三匁八分九厘

五十六文

ノ貳両三分卜六百七十四文

百六十四間

同三丁目

一、貳百四十六匁

四分九厘

一、五匁七分四厘

八十貳文

ノ四両貳朱卜

五百九十四文

(表紙)

丙 安政三年

両 社
惣修復
日掛勸化請取帳

辰 二月ヨリ

覚

辰二月分

印 一、拾貳貫〇四拾八文 請取 印

同三月分

印 一、金壹兩三朱ト 四貫文 請取 印

四月分

印 一、金壹兩貳分貳朱ト 貳貫五百八十三文 請取 印

五月分

印 一、金壹兩ト 五貫貳百九拾文 請取 印

六月分

安政三年一月〜安政四年三月

印 一、金壹兩三分ト

百十貳文 請取 印

七月分

印 一、金三朱ト 拾貫百三拾文 請取 印

八九二ヶ月分

印 一、金貳兩三分ト 五百六拾貳文 請取 印

十月分

印 一、同壹兩貳分壹朱ト 貳貫五百拾四文 請取 印

十二月廿日

印 一、金壹分貳朱ト 七貫三百六拾六文 十一月分 請取 印

巳二月八日

印 一、金壹兩貳分貳朱ト 四百六文 十二月分 請取 印

ノ

巳二月十四日

印 一、金壹兩壹分ト 七百十貳文 巳正月分 請取 印

三月十五日

印	一、金壹兩貳分ト	巳二月分	印
	貳百十貳文		
	四月十三日		
印	一、金壹兩三朱ト		
	九百四文		
	又壹貫五百貳十壹文	三月分	印
	五月十三日		
印	一、金壹兩貳分ト	四月分	印
	六百廿四文		
	閏五月十九日		
印	一、同壹兩貳朱ト		
	又壹朱ト		
	三十壹文	五月分	印
	六月十四日		
印	一、金壹兩貳分ト		
	三百廿六文	閏五月分	印
	七月十三日		
印	一、金壹兩壹分三朱ト	六月分	印
	貳百四文		
	八月十五日		
印	一、拾壹貫貳拾文	七月分	印

印	九月廿日		
印	一、金三分壹朱ト	八月分	印
	五貫八百文		
	十月十九日		
印	一、同壹兩貳分ト	九月分	印
	四百六十五文		
	十一月十九日		
印	一、金壹兩壹分貳朱ト	十月分	印
	八百貳拾文		
	十二月廿日		
印	一、金壹兩貳分ト	十一月分	印
	三百文		
	午正月十七日		
印	一、金壹兩貳朱	十二月分	印
	二月廿日		
印	一、金壹兩貳分	午正月分請取	印
	午三月十六日		
印	一、金壹兩壹分	午二月分	印
	四月十日		
印	一、金壹兩三朱ト	三月分	印
	三百文		

五月廿六日

④ 一、金壹両也

四月分 ④

六月十三日

④ 一、同壹両貳朱卜

六百七文

五月分 ④

八月十三日

④ 一、同貳両貳分三朱卜

四百十三文

六七 ④

九月七日

④ 一、同壹両貳分ト

百四拾文

八月分 ④

十月六日

④ 一、同壹両壹分ト

三百七文

九月分 ④

十一月

④ 一、同壹両貳分ト

貳百八文

十月分 ④

未正月十八日

④ 一、金壹両三分

十一月分 ④
十二月分

未三月四日

④ 一、金貳両

正月分 ④

四月廿五日

④ 一、金壹両三朱卜

一、金三分

百廿壹文

三月分 ④

一、金壹両三分三朱卜

百貳十壹文 ④

五月六日

④ 一、金壹両貳分ト

百七十壹文

四月 ④

七月六日

④ 一、金壹両三分三朱卜

百八十五文

五月分 ④

八月六日

④ 一、金壹両壹分

三百七十三文

六月分 ④

九月六日

④ 一、金壹両ト

三百十三文

七月分 ④

安政六年十月〜十二月

十月七日

印

一、金巻兩巻分

百四十三文

八月分

印

未十二月十三日

印

一、金巻兩巻分

貳百廿八文

九月分請取

印

(裏表紙)

両社世話人

印

塩町壺丁目

御行事中様

(表紙)

甲 元治元年

鎮守御祭札

鋳付道具一式

預ケ所覚帳

子 六月吉日

目出度

おほえ

一、兩
社 御図写

千葉氏

一、頭巾鉄物壺ツ

同断

一、御神前額

壺張

一、御戸張

壺張

一、紫二子絹水引

壺張

一、紫縮緬水引

壺張

四品

但額面箱入有之

元治元年六年

右品之義者定例

御預ケ

富田氏

一、御神酒

徳利

加賀屋

一、御幟壺対

幕壺張

富山

棹式本

角棒式本

一、網箱壺ツ

同断

一、毛拔付

獅子壺対

田中屋

一、御鋳付道具一式箱入

一、幕壺張

一、毛氈式枚

右品之者定例
(備脱カ)

萬屋

弥六殿

赤塚

伊太郎殿

一、薄端花生
台共

隨身巻対

神鏡

唐獅子巻対

美濃屋

安兵衛殿

其寧真筆

富山

両社幟下書

吉兵衛殿

裏打致有之

河内屋

一、頭巾鉄物

藤兵衛

箱巻ツ

頭

一、両社鋤台

弥三郎

文久二戊辰年中より
一、地盤式本

同断

一、角込せん四本

一、くる木式本

一、三尺丸樫木巻本

(中裏表紙)

四谷塩町巻丁目

月行事

勘六

世話掛

徳兵衛 控

(中表紙)

元治元年六月吉日

両社祭礼諸入用おほえ帳

行事

勘六

覚

* 六月十六日

一、七百四十文

鯰巻升

一、百廿文

茄子

請印

一、百文

薪代

一、拾貳文

のり入代

一、五百文

四丁物

印一、五百文

蠟燭代

(貼紙)

*一、金壹朱也

大木戸茶代

一、四百文

堀端

中村屋茶代

(貼紙)

*一、金壹朱ト

四百文

」

(貼紙下)

「十七日

一、

直し壹合代

一、

酒壹合代

十八日分

一、四百文

堀端

六月廿六日相渡

茶代

一、金壹朱也

大木戸

茶代」

廿二日

*

一、

さしみ

一、

煮さかな

一、

鯿貳升

一、

牛房

*

*一、金壹兩三分ト

老貫四百八十貳文

印一、三匁六分

茶吞

茶わん十

同月相成申候

印一、三匁四分

手洗紙

壺ツ

印一、金貳朱也

障脳代

*一、貳百文

くわし代

六月十六日より七月四日迄

一、五百四十三文

桃・牛房

磨砂

両度代

書役

一、金貳朱也

祝義

一、五百文 頭江
 一、五百文 祝義
 一、五百文 清助江
 祝義
 五月
 一、貳百文 勘六江
 くわし
 壺かへ

六口

メ金貳朱ト

壹貫九百四十三文

十六十七十八十九廿日廿一廿二日

メ七日分

一、壹貫三百文 茶屋弘
 一、七百四十八文 麻代
 一、七貫六百三十貳文 万長
 酒直し
 代
 内 切手七升代
 三貫貳百文引
 差引

元治元年六月〜七月

メ四貫四百三拾貳文

三廉

メ六貫四百八十文

八口廉

合メ 金壹兩三分三朱ト

拾三貫七百

七拾七文

此金貳兩ト

三百十三文

為金三兩三分三朱ト

三百十三文

有金三兩貳分ト

三貫五百文

差引

メ貳百三十九文

右者勘定相立前書之通御座候処、残錢之義者御茶子調相済申候、以

上

七月七日

覚

一、三百文 勝右衛門

一、三百文 庄次郎

一、三百文 弥平

一、三百文 清次郎

一、三百文 伊太郎

一、三百文 甚右衛門

相済

メ 壹貫八百文

吞 夜番ニ而吞申候こと

一、切手壹枚 今豊紫

一、三百文 みの安

相済 一、三百文 庄三郎

一、切手壹枚 専之助

一、切手 床兼

相済

一、金壹朱也 五郎兵衛

相済 一、金壹朱也 盤井屋

一、切手壹枚 万長

相済 一、三百文 兵藏

一、切手壹 重元氏

一、同 八右衛門

一、同 芳藏

一、同式 半田屋

此壹枚切手の義者清次郎殿家主弘之節吞候得共、出所無之故右ニ而差引申候

切手七升代

三貫貳百文

(付箋)
「奉納候」

一、金壹両也 御飯屋

一、同壹両貳分 入用

一、同貳分 か、屋

一、八百文 清助

一、八百文 忠兵衛

とのより

酒代

一、貳貫七百文 勝右衛門殿

外七人

メ 金三両ト

三貫五百文

外金貳分

千葉氏

より

(ママ)
金三両貳分ト

三貫五百文

内金三両三分三朱ト

三百十三文

祭札入用代

差引ノ貳百三十九文残

右者勘定之節くわし代遣給申候、以上

右者行事勘定立合ニ而取計申候、以上

(中表紙)

壬 文久二年

鎮守御祭礼

鋳付道具一式 預ケ所覚帳

戊 六月吉日

文久二年六月ノ元治元年

目出度

おほえ

一、両社随神壺対

御鏡御大壺対

千葉氏

一、御鋳附道具

毛氈とも

萬屋弥六殿

外

一、幕壺張、毛氈同断

一、薄端花生 井台共

赤塚伊太郎殿

一、御神酒德利

加賀屋

一、御神前額

壺面

一、御戸帳

壺張

一、御水引二 但 二子絹巻ツ
縮緬巻ツ

富田氏

棹式本

一、御幟巻対

角棒式本

御幕

富山氏

一、毛拔附獅子巻対

田中屋

一、両社鋤台

頭 弥三郎殿

一、網箱巻ツ

富山氏

一、地鑿式本

頭 弥三郎殿

亥七月三日預ケ

富田氏

一、頭巾鉄物巻ツ

弥三郎殿

一、同断巻ツ

千葉氏

一、両社幟下書式枚

但裏打致有之候

右者其寧真筆

預ケ

富山吉兵衛殿

随神巻対

一、神鏡

唐獅子巻対

美濃屋安兵衛殿

角込鑿四本

一、くる木式本

三尺丸櫓木巻本

頭 弥三郎殿

覚

一、金式分式朱

手拭

三反代

一、八百文

酒式升

印 一、九百文

蕎麦代

右者田中や弘 立替

右式口者幟立之節頭江遣ス

除、十式文 利久形

焼麩十

除、十六文 かわけ壺ツ

十六大角豆

式わ

除、素麵式把

赤角かんてん

式本

除、白角てん

壺本

四口 椎茸

ノ式百六十四文 大十

除、四十八文 葉せふが

式わ

〔付箋〕
〔諸人用〕

〔付箋〕
〔入用口〕

除、拾八文 水引

拾八把

除、百三拾式文 金箔式枚

除、四十八文 長寿香

壺把

ノ五百四十八文

右者定例盛物

六月十六日鑄付入用支度代

除、八文 磨砂代

除、六百七拾式文 鯨壳升五合

除、八十文 牛房代

除、貳百文 味噌代

除、貳百文 鯉節代

一、九百文 酒代

印、百文 沢庵代

除、百文 薪代

除、貳百文 味淋代

* 壺貫四百六十四文 *

十六日より

一、御盛物菓子代

除、四十八文 折釘代

除、拾六文 麻糸代

除、八百文 素麵代

除、十六文 辛子代

除、八文 根布

除、貳百文

せふ油

鯉節

みりん代

印、三百十六文

鉄物代

除、三百廿四文

風鈴三ツ代

老貫四百十六文

印、七十貳文

将棋駒代

印、三拾貳文

糊入紙

八枚代

十六日御鋸下附之節

廿六日御神酒開

印、金壹分壹朱丁五十文

米六升代外六升

印、五貫四百三拾貳文

酒代

一、貳百文

札廻り

此貳口分

別段罷越候節茶代

五郎兵衛奉納遣申候

一、貳百文

笠耆りん代

印、四百文

札助殿

茶代

朱除 町入用より出

ノ三貫四百三拾貳文

印、金貳朱祝義

徳兵衛

印、五百文

清助

印、五百文

頭江

喜木^{ニマツ}錢之内ニ而渡ス

印、壹貫貳百三十貳文

汁代

香のものの代

内五百文 はんへんつみ入

三百文 みそ

貳百文 かつふし

貳百三十貳文 いろく

ノ常心院様より仮払

印、壹貫貳百文

御備貳ツ

御盛物代

六日分

一、金壹両也

御仮屋入用

内貳朱也

書役江祝義

内壹分壹朱ト

か、屋

丁五十文

米壹斗貳升代

此錢壹貫貳百三十貳文

内金貳朱也

清次郎殿払

四百文

内六百文

菊屋御備代払

内 六百文 御盛物代

内 四百文 札助殿江茶代

内 五百文 清助江渡ス

内 五百文 弥三郎江祝義

百八文 清助小買物代

九百文 そは代

田中や立かへ

風鈴三ツ代

三百十六文

奉納 ○為三郎江祝義

相濟

一、三百文 庄次郎殿○

御備

十八日

一、相濟^{マデ} 安兵衛殿○

清助江渡ス

一、三百文 勝右衛門殿○

御備

金巻朱ニ而 五郎兵衛殿△

相濟

八日分札廻り茶代

笠立笠代ニ遣申候

一、壹升 ○弥平殿○

一、貳升 床 兼

一、壹升 萬 長

一、酒貳升 紺屋 安次郎殿

相濟 盤 喜殿△

一、壹升

一、壹升^除 万 長

(付箋) 奉納

(付箋) 奉納

(付箋) 奉納候

一、貳升 赤塚内 龜太郎殿

一、壹升 八百屋 芳 蔵殿

一、壹升 大和屋 八右衛門殿

相濟 庄 吉殿

一、壹升 理兵衛殿

相濟

一、壹升

一、三百文 丈兵衛殿○

一、壹貫五百文

文久二年六月〜八月

酒壺斗

式升

外三百文

外三百文

壺貫五百文

勘六分五人組より

惣七殿分

勝右衛門殿 外四人

壺貫五百文之内

五百文 頭江祝義遣ス

三百文 清助江遣ス

四百文 清次郎殿江遣ス

ノ壺貫貳百文出

酒壺斗貳升之内

貳升

七月廿八日夜

此代七百文 獅子之神酒ニ相申候^(ママ)

但武藏屋儀助殿切手

差引

ノ四貫貳百文 切手拾枚代

万屋長兵衛殿払

五貫四百三十貳文

内 四貫貳百文切手代

八月七日

差引

ノ壺貫貳百三拾貳文

徳印立替払^(ママ)

(裏表紙)

四谷塩町壺丁目

月行事

安平

世話掛 徳兵衛控

(表紙)

元治二丑年
慶応二寅年
慶応三卯年
備社入用帳

(中表紙)

行事安平
元治二丑年正月八日備社入用帳
世話懸り
徳兵衛

めてたく

おほえ

元治二丑年正月八日

一、三百文
御備老飴^餅

菊屋弘

一、
長線香 壱わ代

一、三百三拾六文
茶代 喜せん

一、
たくわん

一、貳百文
くわし代

元治二年正月

一、銀貳貫九百拾八文 酒五升
一、壹貫廿四文 味淋代
一、六拾四文 醬油代

三口

メ四貫〇八文

内壹貫文切手代引

差引メ三貫八文 万長弘

一、金貳朱也

一、五百文

一、五百文

肴屋弘

一、銀百七拾五匁

書役江
祝義
抱頭江
同断
定番江
同断
さしみ
口取もの
吸もの
汁

壱人ニ付

銀五匁ツ、

但三拾五人前

肴屋払

一、銀三拾七匁

さしみ

七分

煮さかな

寄せ鍋

但十日残酒并勘定之節入用

肴屋払

貳口、金三兩貳分

貳朱ト

貳百五拾貳文

一、金貳朱ト

白米四升代加々屋払

百廿九文

一、四百八拾四文

上白貳升代田中屋払

一、貳百文

薪代

一、百文

酒三升

うわは代

一、貳百文

大蠟燭并

元結其外

代

八百屋払

惣

、金三兩三分貳朱ト

六貫貳百拾七文

此金三分貳朱ト

三百廿五文

為金四兩三分ト

三百廿五文

一、百文

くわし代

合

、金四兩三分

壹朱也

有金高

一、金壹兩貳分

町入用

一、同壹兩貳分

加々屋より

一、同貳分

定番人水揚錢

一、同貳朱也

山王様より酒代

一、同貳分

千葉氏より家主方江酒代

一、酒三升

切手

壹枚

、金四兩貳朱ト

酒三升

一、金貳朱也

清次郎殿

初備社

一、金百疋也

伊太郎

膝替り

一、金百五拾疋

清吉殿孫

忠兵衛

メ金四両三分

貳朱也

一、切手老枚 床兼より

差引

メ金壹朱也

慶応元丑年

正月吉日

目出度

おほえ

慶応二寅年正月八日

一、三百文

一、四拾八文

一、百文

一、四百文

一、六百文

一、金壹分

一、貳百文

一、六百文

一、五百文

一、金貳朱ト

百四十八文

一、金貳朱ト

壹貫文

一、金三両三朱ト

貳百八拾八文

一、貳百文

御備老ツ代

長寿香老わ

上喜せん

くわし代

むきみ代

白米代

鯉節代

白上みそ代

豆腐屋払

茶漬茶わん十

書役頭

定番人

祝義

肴屋

支度代 払

はんへん

摘入代

(中表紙)

正月初八日

慶応二丙寅備社入用帳

行事 丈兵エ

元治二年正月、慶応二年正月

一、八貫七百文

酒・味噌・

醤油其外

薪代

内四貫

切手六升代

差引
金貫九百文

差引

金四貫八百文

此金貳分三朱ト

万長払

百貳十四文

金四兩壹分貳朱ト

四貫五百拾六文

皆金五兩ト

貳百六十四文

覚

一、金壹兩貳分

か、五

一、金壹分

籠屋

一、同壹分

惣七

一、同壹分

秀次郎

一、同貳朱也

吉岡屋勝右衛門

一、同貳分

清助

一、同壹兩貳分

山内

一、金壹分

籠屋より

先達而預り分

金四兩貳分貳朱也

外貳分壹朱也

箱より出申候

山田屋氏出銀

右之通立会勘定相立申候間、記置もの也

慶応二年寅年

正月廿日

(中表紙)

正月初八日

慶応三丁卯備社入用覚帳

行事 秀次郎

めてたく

おほえ

一、金壹朱也^印

御備壹ツ代

一、百文

長寿香壹わ代

一、九百三拾貳文

茶七把代

一、貳百文

白砂糖代

一、五百文

摘入代

一、三百四十八文

鯉節貳本代

一、金貳朱也

書役頭并

壹貫文

定番人共

祝義代

一、貳百文

鳳凰山代

一、金壹朱ト

くわし代

百文

一、金三両壹朱也

魚屋清次郎^印

一、金壹兩ト

万長^印

貳貫文

酒四升

みりん六合

薪代

醬油代

一、金貳分也^印

白米四升^印

百文

炭代

一、壹貫文^印

みそ代^印

一、五百文

豆腐屋^印

一、百文

はし

式わ其外^印
八百屋

メ金四両三分壹朱ト

七貫八拾文

外百文白米代

^印 不足

合

メ金四両三分

壹朱ト

七貫百八拾文

皆金五両三分壹朱ト

三百八拾文

入金 壹兩貳分 か、屋より

入金 壹兩貳分 町入用より

入金 貳分也 定番より

入金 貳分也 相模屋より

入金 壹分也 嘉七

慶応三年正月〜慶応四年正月

入金 沓分也 鉄五郎

金四両貳分也

差引

金老兩沓分

沓朱ト

三百八拾文不足

前書不足相成候分者相談之上、金老兩沓分式朱之義者正月分町入用
江入可申答ニ取極申候、依之記置もの也

慶応三卯年

正月十九日

懸り行事

秀次郎

(中表紙)

懸行事

慶応四戊辰年備社入用おほえ帳

世話取扱

庄次郎

徳兵衛

覚

一、四百文 米さけ

沓ツ代

一、金貳朱也 書役江祝義

一、五百文 抱頭江同断

一、五百文 定番人

同断

一、貳百文 鳳凰山

一、四拾八文 長寿香

沓わ代

一、百文 杉はし

沓わ其外代

一、貳百文 かつふし

一、四百文 むきみ代

金貳朱ト

貳貫三百四十八文

皆金沓分式朱也

つり四拾八文

一、金貳朱也 御備沓ツ

荒井屋弘

金

覚

一、三拾五人前 さしみ

煮さかな

吸もの

ぬた

此代 金三両貳分壹朱也

右者備社仕出入用前書之通槩受取申候、以上

辰正月廿二日

肴屋清次郎

覚

一、金壹分貳朱 勘定之節

百文 さかな代

右之通槩受取申候、以上

辰正月廿二日

肴屋清次郎

一、金壹朱也 茶くわし代

覚

一、金壹両貳朱ト 上酒四升

銀三匁五分 味噌其外代

錢貳貫百文

慶応四年正月一二月

内巻貫七百文 切手壹升代

差引

金壹両貳朱ト

九百六拾四文

右之通槩受取申候、以上

辰二月十六日

万屋長兵衛

覚

一、六百文 とうふ

九丁代

右槩受取申候、以上

辰二月十六日

とうふ屋吉五郎

一、四百文 薪代

覚

一、金貳分ト 白米七升

八百文 五合

みそ代共

右之通槩受取申候、以上

辰二月十七日

加々屋五兵衛

一、百文 根き代

ノ金六両貳朱ト

貳貫九百六拾四文

此金壹分ト

五百四拾文

内四拾八文引

差引

ノ四百八拾八文不足

有金寛

一、金壹両貳分

一、同壹両貳分

一、同貳分

家持ニ付

町入用

加賀屋より

田中屋より

初備社

一、同貳分

同断

伊豆屋より

初備社

一、同壹分

上総屋より

同断

一、同壹分

鼈甲屋より

同断

一、同壹分

講釈場

一、同壹分

悴膝代り

千葉氏

肴料

一、同貳朱也

名主代

忠兵衛殿

一、同貳分

定番人

水揚せん

一、同貳分

拾壹丁目

相模屋より

ノ金*六*両貳朱也

外ニ

一、金壹分

市谷田町

柳屋三蔵

一件

差引

ノ金六両壹分貳朱也

備社入用相掛候高

一、金六両壹分貳朱ト

四百八拾八文

前書之通差引候得共、錢四百八拾八文不足

(裏表紙)

四谷塩町壹丁目

自身番

用所

慶応四年

慶応元年六月

(表紙)

慶応元_二年六月

鎮守御祭札

預ヶ所おほえ并入用帳

鋳付道具一式

行事 庄吉

世話懸 徳兵衛控

一、御神酒

加賀屋

徳利

毛氈_二杓

隨身_二杓

一、神鏡

美濃屋安兵衛殿

唐獅子_二杓

其寧筆

一、両社幟

富山吉兵衛殿

下書

一、両社

一、御図写

千葉氏

一、頭巾鉄物

一、御幟_二杓

富山

一、_(ツ)
頭巾鉄物

但内幕_二杓張入有之

一、御神前額

富田氏

御戸帳

紫絹水引

紫縮緬水引

頭巾鉄物_(ツ)杓

但額箱有之

一、毛拔付

田中屋

獅子_二杓

一、御鋳付道具一式

萬屋弥六殿
丹羽長

一、頭巾鉄物
箱入沓ッ
河内屋藤兵衛殿

改メ相木屋江相預ケ候也

一、両社
鎗壇
頭 弥三郎

地鑿式本
角込せん四本
くる木式本
三尺丸櫓木沓本

慶応元丑年

両社祭礼入用

六月十六日
一、九百文

印一、五百文
印一、沓貫貳百文

鯨沓升
五合代
茶吞茶わん十代
竹・西の内
縄七五三代

慶応元年六月

一、百文
折釘其外

釘代

一、百四拾八文
牛房代

八百屋兼吉殿払

一、廿四文
根深代

メ貳貫九百七十貳文

但三貫文前借加々屋より之内

印一、金沓両沓分
幟立入用

弥三郎江渡ス

但諸色高ニ付難渋引足不申旨申出候ニ付麥麦酒代として金沓
分遣し申候

内 金貳分
徳兵衛立

替分

銭五貫廿四文
加賀屋より

此金三分也
立替分

(付箋) ✓
「祭礼入用」

六月十六日

慶応元年六月

金壹分ト

三百四拾八文

内印金壹朱ト百文

加賀屋

立替分

七五三竹

まし分

百廿四文

梨子代

廿四文

根深代

貳百四拾八文

八百屋蠟燭

五丁代

壹貫文

和泉屋利兵衛

百メ蠟燭代

七拾貳文

長寿香

壹わ代

金壹朱ト

壹貫五百七拾貳文

差引金三拾文残

貳廉

金壹両貳分 定式

加々屋出銀分

差引金七拾八文

残分

*十六日

弥三郎江渡候分*

一、金貳分

徳兵衛

立替分

但前ニ有之候得共、諸勘定相立候間、わかり宜敷様改出申候

右者山田屋より受取申候、以上

六月十七日

六月十七日

印一、金壹分貳朱ト

障子貳本代

五匁五分

加々屋立替

金貳分

同断立かへ分

此錢三貫三百四十八文

印一、銀四拾四匁

紅半染之

此金貳分貳朱

手拭代

年番江渡ス

十七日

一、百四拾八文

やうかん代

印一、五百七拾貳文

鉄棒紐代

同

一、八百文

徳印

十七日

一、八百文

かり

清助江

小買ニ渡ス

内 百三拾六文

金箔三枚

廿四文

はし

五十式文

赤かんでん

式百五十文

ほん老ツ

六拾四文

そうめん

式わ代

八拾文

白かんでん

式本

八拾文

椎茸十

廿四文

利久麴

十

七拾式文

十六大角豆

式わ

廿二日

一、九拾式文

将棋駒

老組

一、五百文

くわし代

④一、四百文

清助立替分

④一、四百文

一、老貫式百文

一、百文

一、金老両ト

四百文

廿二日夜

一、式百文

廿三日

一、式百文

樟脳代

樟脳代

鯨式升

上喜せん

魚源払

茶くし代

茶くし代

茶くし代

弥三郎

一件ニ付

茶くわし代

同断ニ付

昼茶くわし

茶屋

七月七日

一、老貫式百文

一、金式朱也

書役江

一、五百文

祝義

抱頭江

慶応元年六月〜七月

一、五百文	定番人江
一、六百拾貳文	同断
なし	八百屋
牛房其外	兼吉払
小買もの代	
一、百文	鋳代
一、八十八文	正ゆ貳合
十六日・廿二日	代
一、三百文	薪代
同	
一、三百文	たくわん
十六日分	四本代
一、貳百文	茶くわし代
五口	
ノ九百八拾八文	
外廿四文	根深
拾貳文	さん枡代 ^(ママ)
合	

ノ壹貫貳拾八文	酢代
外十貳文	
清助立替分	
七月七日	
一、金貳分壹朱ト	白米代并
貳百八十文	みそ代共
同	
一、七貫三拾貳文	酒・味淋代
内切手八升代	万長払
此錢六貫廿四文	
差引ノ壹貫八文	
七日	
一、百八拾四文	豆腐
一、四百文	拾丁代
	十六日幟立
	并飭付之節 ^(註)
	くわし代
ノ金壹兩貳分三朱ト	
拾壹貫六百元	
皆金三兩壹分貳朱ト	
七拾六文	

*皆金三両壹分貳朱

貳百三拾六文*

奉納寛

一、金百疋

家主

平三郎殿

一、切手壹枚

今豊紫

一、御神酒代

安兵衛

此分末ニ出し申候間相除

一、御酒代

勝右衛門

一、御神酒代

清次郎

一、三百文

庄次郎

甚右衛門

五郎兵衛

五兵衛

一、切手壹升

万屋長兵衛

一、同

紺屋要次郎

一、同

八百屋芳藏

一、同

大和屋八右衛門

一、吞申候

床兼

一、同

藤次郎

(付箋)
「奉納金」

一、金百疋

平三郎

一、金壹分

か、や内角太郎

一、同貳朱也

重元氏

一、同壹分

千葉氏

メ金三分貳朱ト

貳貫百文

壹貫八百文

酒七升

内壹升吞申候

一、金壹分

神酒代并

御備代共

一、金壹両貳分

か、屋定例

一、同貳分

清助より定例

一、金壹両也

町入用

メ金四両貳朱ト

壹貫八百文

貳貫百文

酒六升

外三升弥三郎より

慶応元年

慶応元年

切手之義者万長ニ而勘定相立差引ノ

壹貫〇八文万長江相払申候

惣勘定

ノ金三分壹朱ト

壹貫三百廿四文

皆金壹両ト

六拾文残

内金壹両

炭代ニ遣し申候

(表紙)

天王号難相成候ニ付

須賀社与唱替仕候

慶応四_{戊辰}年祭礼諸入用おほえ

祭礼懸行事 兵藏

同神酒開同断 惣七

慶応四_{戊辰}六月祭礼

御飯屋諸入用覚

御盛物

一、_金貳百四拾八文

椎茸五ツ

一、_金四百六拾四文

角白かんてん四本

一、_金貳百三拾貳文

赤かんてん壹本代

一、_金百廿四文

花麩八ツ

一、_金貳百四拾八文

素麵拾わ代

一、_金百文

十六大角豆壹わ代

一、_金百廿四文

水引拾は代

_印、_金貳貫五百四拾八文

一、_印貳百文

大薫香老把代

_印、_金壹貫四百文

御飯屋中備くわし代

一、_金貳百文

鳳凰山代現金買分

_印、_金六百文

鯉節壹本代

_印、_金五百文

なまり壹升代

一、三百文

薪代

_印、_金金三分ト

白米壹斗

九分九リ

壹升代

此分百五十六文

田中屋払_印

_印、_金金四両也

三拾五人前

支度代

肴屋払

但さしみ 煮さかな

酢の物共 三品

_印、_金四貫文

鯉貳升代

_印、_金貳貫三百廿四文

むきみ井

たくわん

薪代兩度分

切手代

差引

_印、_金金壹分ト

酒味淋其外

八貫五百六拾四文

せうゆ代

万長払

一、_金金貳朱ト

書役抱頭

慶応四年

慶応四年

壹貫文

定番人共

支度先例

骨折

神酒開之砌

肴屋小供

使ちん

茶代共

八百屋ニ而

梨子代

一、④貳百文

ノ金五両貳朱ト

錢廿壹貫四百文

此分金貳両ト壹貫四百文 両ニ拾貫文替

皆金七両貳朱ト

惣懸り高

錢壹貫四百文

内

金五両壹分壹朱ト

七百文

集納高

差引ノ金壹両

三分貳朱ト

不足

錢七拾貳文

御神酒開之節賦もの割合

左之通り

山田屋 永田屋 加々屋 行事

左之通別段壹人前ツ、遣ス

○印 □取もの印

□印 煮さかな



金有高寛

一、金壹両貳分 加々五

一、金貳両貳分 町内より

一、④金壹分 奥田屋より

先達而遣われ

候分

右之通祭礼中吞候間、勘定之節差引相立候間、前書之通記置もの也

一、金壹分 千葉氏
一、金貳朱也 盤 喜
一、金同貳朱也 五郎兵衛
一、金同壹朱也 秀次郎
一、金同壹朱也 藤次郎
一、金貳百文 みの屋
一、金四百文 鉄五郎
一、金壹朱也 清 吉
一、金壹朱也 甚右衛門
一、金貳朱也 丹 羽
一、金同貳朱也 嘉 七
一、金同壹朱也 清次郎
金五兩壹分

壹朱ト

七百文

外ニ

一、金貳朱也 相木屋
切手壹枚 惣吉殿
一、同壹枚 金子屋
五郎兵衛殿
一、同壹升 万長より

慶応四年

(天保十二) 子年三月、九月

(表紙無し)

子九月十八日

一位様

田安 右衛門督様

御簾中様

一橋 刑部卿様

大木戸際御屋敷江御入、終日御对座在之候ニ付、町方御廻り吉沢久太夫殿・持田勝之助殿兩人御出役ニ付、先例之通御下宿申候諸入用左之通

覚

一、壹貫九百六拾文

御出役御兩人并ニ御供式人

朝昼夕三度御支度代

一、金壹分

右同断成彦弘

一、貳百文

茶菓子代

一、四百文

御供式人

中飯代

一、金貳朱

水茶やかすみ

席料

一、同壹朱

絹夜着式通り

一、貳百文

同断蠟燭代

メ金壹歩三朱卜

貳貫七百六拾文

子三月五日

一、三百文

御普請御奉行

上水見分之節

石垣際掃除人足賃

六月十五日

一、三百文

御飯屋前ニ付

右同断

九月十七日

一、三百文

田安様御入ニ付

右同断

メ九百文

二口

メ惣錢

六貫七百廿四文

七ヶ町小間八百八拾間ニ割

壹卜小間ニ付 七文九分宛

一、七百四拾貳文	伝 壺
一、六百廿五文	新 壺
一、壹貫百六拾四文	伝 貳
一、壹貫貳百拾六文	同 三
一、壹貫百六拾四文	しほ 壺
一、九百貳文	塩 貳
一、壹貫三百三拾貳文	塩 三
寄り高七貫百五拾三文	

(天保十二) 子年三月～九月